



2024年10月11日

各 位

会 社 名 株式会社日本色材工業研究所
代表者名 代表取締役社長 奥村 華代
(コード:4920 スタンダード市場)
問 合 せ 先 常務取締役企画・経理部長 霜田 正樹
(TEL. 03-3456-0561)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2024年7月11日に公表しました2025年2月期（2024年3月1日～2025年2月28日）の通期の業績予想を、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2025年2月期通期連結業績予想数値の修正（2024年3月1日～2025年2月28日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	17,354	711	600	405	193.48
今回修正予想（B）	17,821	593	462	230	109.97
増減額（B－A）	467	△117	△137	△175	
増減率（%）	2.7	△16.5	△23.0	△43.2	
（ご参考）前期実績 （2024年2月期）	15,050	441	407	398	189.96

2. 2025年2月期通期個別業績予想数値の修正（2024年3月1日～2025年2月28日）

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	12,494	537	366	174.89
今回修正予想（B）	12,579	522	356	170.01
増減額（B－A）	84	△15	△10	
増減率（%）	0.7	△2.8	△2.8	
（ご参考）前期実績 （2024年2月期）	10,261	261	△89	△42.71

3. 業績予想の修正の理由

2025年2月期の連結会計年度におきまして、化粧品業界ではメイクアップ製品を中心に需要は改善の傾向が続いております。新型コロナウイルス禍で低調だった新製品発売が大きく回復、特に前連結会計年度にマスク着用規制が解消したことから口紅等の新製品発売も回復して需要喚起に貢献したものとされます。

(個別業績)

2025年2月期の通期個別業績予想につきましては、第3・第4四半期の売上高は、第2四半期累計期間(2024年3月1日~2024年8月31日)の大口受注が一服して、前会計年度からの新製品の受注の波も沈静化していくことが予想されることから、第2四半期累計期間を下回る見込みです。それに伴い、第3・第4四半期の利益も第2四半期累計期間を下回る見込みですが、通期業績につきましては、前会計年度を上回る、前回発表予想値に近い利益水準となる見込みです。

(連結業績)

2025年2月期の通期連結業績予想につきましては、フランス連結子会社である THEPENIER PHARMA & COSMETICS S.A.S. 及び Nippon Shikizai France S.A.S. は、医薬品及び化粧品の受注において前連結会計年度の回復ペースが鈍化している影響でユーロ建ての売上高が低迷し、加えて人件費や諸物価の高騰もあって両社合計として利益も予想を下回る見込みです。それを受けて、通期の連結業績も売上高は円安の影響もあって前回発表予想値を上回るものの、利益は予想値を下回る見込みです。

(注) 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後発生する様々な要因により当該予想値と異なる結果となる可能性があります。

以上